

1 地球を守る脱温暖化への貢献

(1) 温暖化防止に向けた気運の醸成

平成22年3月に「県地球温暖化対策推進条例」を策定し、平成23年3月には、排出される温室効果ガスの排出抑制等のための対策・施策を総合的・計画的に推進するため「県地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

さらに、平成30年3月には、2030年度までに2013年度比で温室効果ガス排出量を24%削減（森林吸収による削減効果を合わせて33%削減）させることを目指すとともに、本県における気候変動の影響への適応策を盛り込んだ計画として改定し、県民・事業者・行政等が一体となって温室効果ガス削減に向けた取組を推進しています。

また、気運の醸成に向けた取り組みの1つとして、日常生活や通常の事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など身近なところから地球環境の保全のための具体的な実践活動を全県的に展開する「地球環境を守るかごしま県民運動」を推進しています。

なお、県自らも地域における事業者・消費者として、事務事業における温室効果ガスの排出抑制等を図るため、「県庁環境保全率先実行計画」（平成31年3月改定）に基づき、電気や水等の省エネルギーや廃棄物の減量化等に取り組んでおり、公共事業を含むすべての事務事業に伴う環境負荷の継続的な低減に努めています。

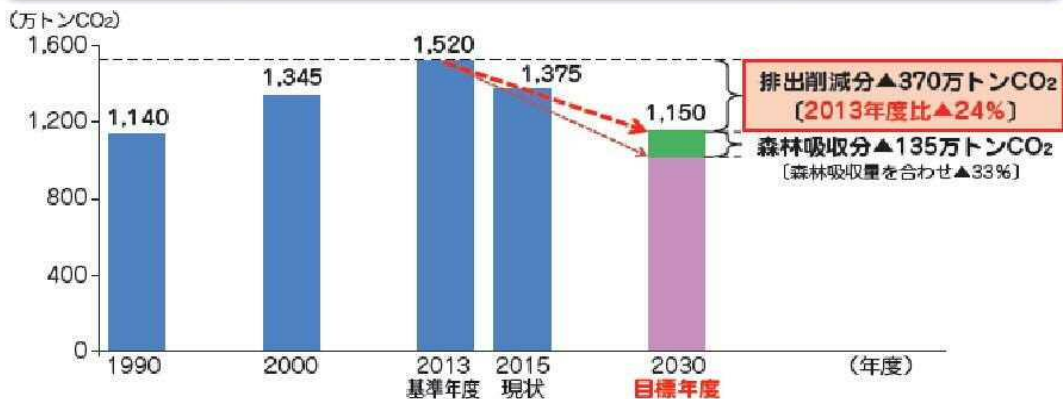
鹿児島県地球温暖化対策実行計画

計画期間

2018年度～2030年度（13年間）

温室効果ガス排出量削減目標

2030年度までに2013年度比で温室効果ガス排出量を**24%削減**させ、森林吸収による削減効果を合わせて**33%削減**させることを目指す。



(2) 温室効果ガス排出削減対策の推進

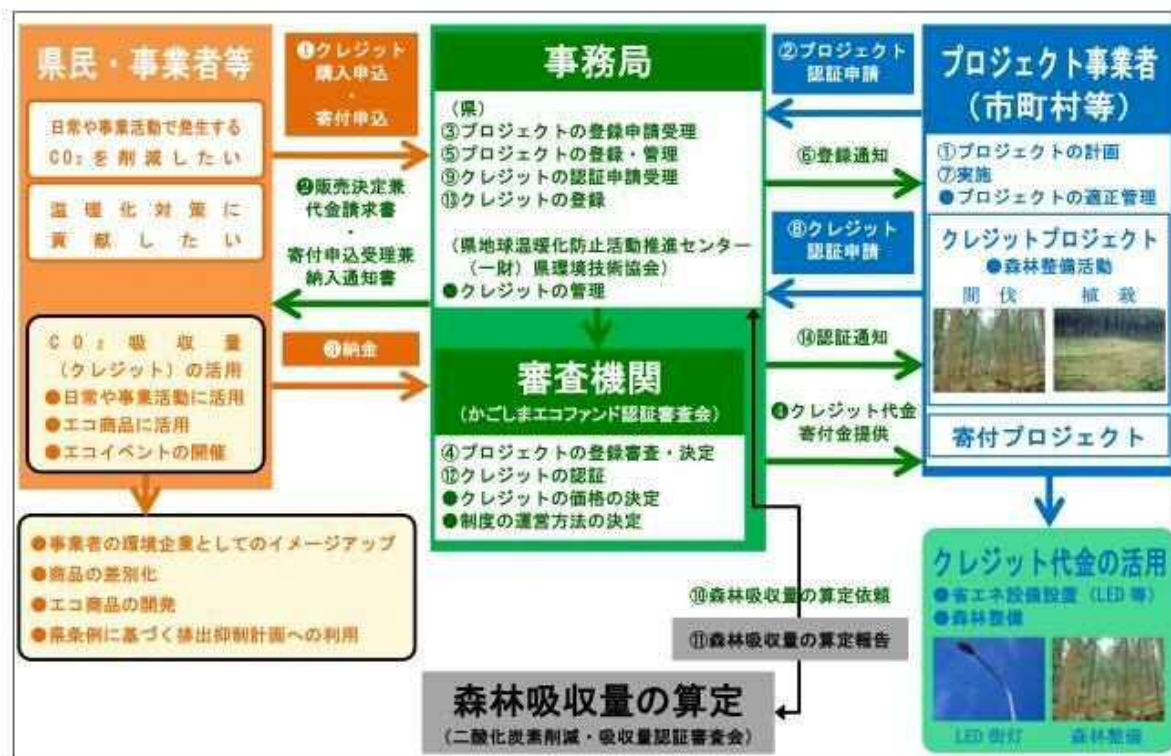
ア 二酸化炭素の排出抑制

本県の二酸化炭素排出量の約4割を占める運輸部門における排出量削減対策として、通勤手段を可能な限りマイカーから公共交通機関等へ転換するエコ通勤の取組を進めています。

また、事業者等が自ら削減できない二酸化炭素排出量について、その全部又は一部を森林整備による吸収量で埋め合わせを行うカーボン・オフセットの取組を推進する「かごしまエコファンド制度」により、事業者等の自発的な温室効果ガスの排出削減の取組を促進しています。

このほか、世界自然遺産の島である屋久島において、二酸化炭素（CO₂）の発生が抑制された先進的な地域づくりを促進するため、専門家からなる「屋久島CO₂フリーの島づくりに関する研究会」の意見・提言をもとに、温室効果ガス排出量削減のための取組を推進しています。

かごしまエコファンド制度



イ 再生可能エネルギーの導入推進

平成26年4月に「県再生可能エネルギー導入ビジョン」を策定し、太陽光発電による電力を2020年度までに2016年度比で2.2倍にする等の導入目標を掲げ、本県の地域特性を生かした再生可能エネルギー導入促進を図っているところです。

さらに、平成30年3月に策定した「再生可能エネルギー導入ビジョン2018」に基づき、再生可能エネルギー設備の導入推進のための条件整備を行うとともに、再生可能エネルギーに関するイベントや導入のためのセミナーの開催等、県民や事業者等に対し、様々な媒体や機会を通じて普及啓発活動を推進しています。

本県は、森林、畜産、温泉や広大な海域等、多様で豊かな資源に恵まれており、太陽光発電や風力発電のほか、地熱発電やバイオマス発電など、多様な再生可能エネルギーの導入が進んでいます。

県内の再生可能エネルギー等導入状況

区 分	導入状況 (平成30年度末時点)	導入目標 (短期) (令和4年度末時点)
太陽光発電 (kW)	1,700,673	2,970,000
風力発電 (kW)	262,520	371,000
小水力発電 (kW)	12,413	25,890
地熱発電 (kW) (バイナリー)	6,695	10,900
バイオマス発電 (kW)	139,000	228,000
バイオマス熱利用 (kℓ) (原油換算)	128,047	168,000
バイオマス燃料製造 (kℓ)	188	500

(3) 森林の整備・保全の推進

近年、県内の森林は林業経営環境の悪化や過疎化・高齢化等により、間伐等の森林整備の遅れやそれによる公益的機能の低下した森林の増加が懸念されています。

これらのことから、森林の有する多様な機能を高度に発揮させ、安全で潤いのある県土の形成に資するため、森林の適正管理に努めるとともに、県民が森林整備に参加しやすい体制を整備するなど、多様で健全な森林づくりを進める必要があります。

県では、森林による二酸化炭素吸収源対策として、平成23年1月に創設した「かごしまCO₂吸収量等認証制度」により、企業等が自ら行う森林整備活動に伴うCO₂吸収量を認証し、企業や団体等における地球温暖化対策の取組を促進しています。

また、平成25年度から、新たにバイオマス利用によるCO₂排出削減量の認証を行い、企業等における地球温暖化対策の取組を促進しています。

【平成30年度】

- ・ かごしまCO₂吸収量の認証：5件(228t-CO₂)
- ・ 木質バイオマスによるCO₂排出量の認証：11件(3,309t-CO₂)